

熱田神宮文化叢書

番号	図 書 名	頁 数	図 版	版 型	発 行 年	価 格	概 略
1	尾張国熱田太神宮縁記	58		A5判	昭和42年	在庫切れ	当神宮の基本的な縁起「尾張国熱田太神宮縁記」の本文とその訓読を載せ、さらに解説を加えたものである。本文は群書類従本を使用、訓読・解説は尾崎知光氏。
①	増補改訂 尾張国熱田太神宮縁記	74	2頁	A5判	平成23年	700円	当神宮の基本的な縁起「尾張国熱田太神宮縁記」の本文とその訓読と口語訳を載せ、さらに解説を加えたものである。本文は群書類従本を使用、訓読・口語訳・解説は尾崎知光氏。
2	熱田神宮の連歌と俳諧	78	4頁	A5判	昭和43年	在庫切れ	当神宮に所蔵される連歌懐紙資料と俳諧連歌懐紙資料及び和歌資料の目録とその解説である。連歌は島津忠夫氏が、俳諧は森川昭氏が解説する。
3	熱田本懐紙和歌集	114	2頁	A5判	昭和44年	500円	当神宮所蔵の熱田本日本書紀の紙背に記される和歌を翻刻し、巻末に解説と和歌索引を付したものである。解説は久曾神昇氏。
4	熱田雑考	60	2頁	A5判	昭和45年	在庫切れ	当神宮に関係する上代から江戸時代までの諸文献の内、特に文芸、伝承、風俗に関するものを中心に解説したものである。本文は16章と付編1編からなり、尾崎久弥氏の執筆になる。
5	熱田神宮の踏歌神事	110	6頁	A5判	昭和51年	在庫切れ	当神宮で一月十一日に斎行される特殊神事である踏歌神事を概説したものである。二部からなり第一部は平安時代から現行の神事次第と変遷を中心に述べ、他社に伝来する神事も概説する。第二部は当神宮に所蔵される「踏歌祭頌文」の翻刻と読み、解説からなる。監修と解説は尾崎知光氏。
⑤	改訂 熱田神宮の踏歌神事	120	6頁	A5判	平成18年	1,000円	当神宮で一月十一日に斎行される特殊神事である踏歌神事を概説したものである。先の「踏歌神事」の再版で、一部図版を新たにして、現行神事次第を改めた。また、近年見つかった「踏歌祭頌文」の翻刻と参考文献一覧を付した。
6	寛永十三年熱田万句	354	4頁	A5判	昭和53年	1,500円	当神宮所蔵の「寛永八年五十韻」と「寛永十三年熱田万句」111点を翻刻したものである。解説は森川昭氏。
7	熱田の宮のうた	114	2頁、 付図1図	A5判	昭和55年	800円	当神宮に因む和歌を採録して解説を加え、巻末に詠み人の略年表を付したものである。解説は岩田隆氏。
8	寛永十四年熱田万句 甲	360	2頁	A5判	平成2年	2,500円	当神宮に所蔵の「寛永十四年熱田万句」120点を翻刻したものである。解説・監修は野田千平氏。
9	寛永十四年熱田万句 乙	238	4頁	A5判	平成6年	2,000円	当神宮に所蔵の「寛永十四年熱田万句」81点を翻刻したものである。解説・監修は野田千平氏。
10	寛永二十年以降熱田万句 (資料)	312	10頁	A5判	平成7年	2,000円	当神宮に所蔵の寛永二十年以降の俳諧資料12点を翻刻し、関連する天理大学附属図書館所蔵の資料2点、東京大学総合図書館酒竹文庫の資料1点を収載し、岐阜県関市の俳諧資料に関する研究1編を付した。解説・監修は野田千平氏。
11	熱田神宮奉納連歌 上	306	8頁	A5判	平成9年	2,000円	当神宮所蔵連歌資料のうち、応永三十年から天正十八年までの20点を翻刻したものである。解説・監修は野田千平氏。
12	熱田神宮奉納連歌 中	282	6頁	A5判	平成10年	2,000円	当神宮所蔵連歌資料のうち、天正十九年から元和九年までの16点を翻刻したものである。解説・監修は野田千平氏。
13	熱田神宮奉納連歌 下	308	4頁	A5判	平成11年	2,000円	当神宮所蔵連歌資料のうち、寛永元年から明治三十一年までの43点を翻刻したものである。解説・監修は野田千平氏。
14	熱田古俳諧集 上	260	4頁	A5判	平成22年	1,200円	熱田万句を指導した熱田俳壇の中心者橋本連也・毎延父子と小出永庵らの俳諧活動をうかがい知る俳諧二千句・三千句・寛永古俳諧など3点を翻刻したものであり、評者には松永貞徳がいる。資料は天理大学附属図書館所蔵。解説・監修は野田千平氏と服部直子氏。
15	熱田古俳諧集 下	202	2頁	A5判	平成23年	1,100円	熱田万句を指導した熱田俳壇の中心者橋本毎延の俳諧活動をうかがい知る慶安俳諧集・熱田俳諧連歌月次・雪ノ五百韻・毎延俳諧集など4点を翻刻したものであり、熱田俳諧の動向を知る良き資料である。資料は天理大学附属図書館所蔵。解説・監修は野田千平氏と服部直子氏。